

上三川町は町村合併60周年を迎えました!!

昭和30年(1955年)4月29日、上三川町、本郷村、明治村が合併し、現在の**上三川町**が誕生しました。今年度、町村合併60周年を迎える上三川町。その町の姿を様々な角度から、1年間に渡りご紹介いたします。**第8回は、上三川町と秋祭りです。上三川町で行われる多種多様な秋のお祭りを紹介します。**

10月16日～18日の3日間、上三川町の中央公民館と体育センターにて文化祭が開催されました。秋と言えば「食欲の秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」と色々ありますが、それに合わせて上三川町でも多種多様なイベントが開催されています。10月11日(日)に開催された、町民スポーツ・レクリエーション祭は先月号の「上三川とスポーツ」で紹介しましたので、それ以外のイベントについて紹介します。

稚児行列・ふる里祭り

今年(11月1日(日))に稚児行列とふる里祭りが実施されます。

子ども達の健やかな成長を願って開催される稚児行列では、きらびやかな衣装に身を包んだ子ども達がしらすぎ神社から城址公園まで、お囃子といつしよに通りを厳かに歩きます。

また、稚児行列の後に、城址公園にてふる里祭りが行われ、祭りを楽しむ親子の姿が見られます。



雨の稚児行列(平成5年)



ふる里祭りでは各種イベントが行われます



稚児行列には多くの子ども達が参加し、通りをきらびやかに飾ります



昭和57年の第1回稚児行列・ふる里祭りの様子



華やかだったふるさと祭りのパレード

はじめて開催されたふるさと祭り盛大に

祭りを通じて郷土三川のよさを再認識し、明るく誇りを推進しようというメンバーのうちに、14日、中央通り佛盆場において、「第1回上三川ふるさと祭り」が開催されました。思い思いに趣向をこらした各種物産では、子供からお年寄り、にいたるたくさんの方が楽しそうに参加しました。

なかでも、中央通りで開催されたこの祭りのメイン行事ふるさと祭りパレードは、作野町院アスバンドを先頭に、下町の山車を引いた稚児行列、増田興、おはやしが続き、祭り気分を盛り上げてくれました。

沿道には、稚児交東で音響をつたわいい子供達の晴れ姿を目にいたるたくさんの方が楽しそうに、目を細めていました。



第1回文化祭 盛況裡に終る

十周年記念行事として企画された第1回文化祭は、開演以来、市民の熱意と参加の盛況が、この祭りの歴史を刻み、市民生活の向上に大きく貢献した。その功績を記念し、この日、市民生活の向上に大きく貢献した。その功績を記念し、この日、市民生活の向上に大きく貢献した。



第1回文化祭新作改良衣コンクール入賞者
(昭和40年11月10日-11日 上三川町役場)

記録名	氏名	作品名	種別
五分一	上野 和子	作業衣上下、別荘着、手拭類由	町長賞
西洋上	上野 和子	作業衣一揃(3点)	町長賞
坂上河原	河原 文彦	作業衣上下	文化祭賞
下町	松枝 洋子	カープーガン	文化祭賞
東洋	小川 千代子	作業衣一揃(6点)	文化祭賞
東三	村 邦子	改良 股引	アイデア賞
坂七本田	本田 文彦	着	アイデア賞
下神上	藤原 芳子	着、カープーガン	アイデア賞
上北田	田野 ツネ	チヨコキ	努力賞
東館前	前田 文彦	手拭類由、作業衣一揃	努力賞

(町人会の観賞会)



昭和40年の第1回文化祭の様子

文化祭

文化祭がはじめて開催されたのは昭和40年、合併10周年の式典に併せて11月に開催されました。書道展や絵画展など今でも続けられている展示のほか、菊花展や盆栽展、農産物品評会なども行われていました。また、バザーではおでんやお汁粉、みつ豆やお餅などが販売されました。

また、昭和54年には農業祭やその他のイベントと併せて行われ、11月9日から18日の10日間わたって開催されました。

今年の文化祭は10月16日(金)〜18日(日)の3日間開催され、中央公民館と体育センターは参加者や来場者で賑わいました。



体育センターには様々な作品や活動発表が展示されます(平成25年)



体育センターのロビーにて茶会も開催されます(平成18年)



昭和43年には、明治100年記念行事として開催。はじめて音楽祭が行われました



少年少女合唱団によるステージイベント(平成26年)

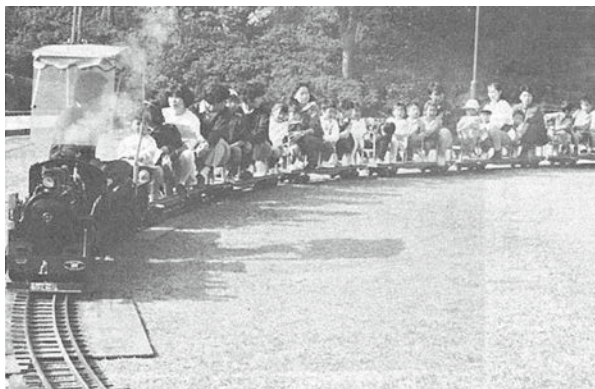


平成26年から友好都市の大洗町も参加しています。

ふれあい健康福祉まつり

ふれあい健康福祉まつりは、上三川町に住む人、働く人、学ぶ人など町に関わる全ての人が、健康で安心かつ生きがいのある暮らしができるように、出会いやふれあいを通じて参加者同士の親睦を深め、思いやりあふれる町づくりを進めるために、開催されます。

ふれあい健康福祉まつりは平成4年から開催されていますが、それ以前は「健康まつり」と「福祉まつり」という2つのお祭りがありました。この2つのお祭りは重複する部分が多かったので、これらを合わせて「ふれあい健康福祉まつり」が開催されるようになりました。



平成6年にはミニSLも行われ、親子で楽しみました



赤ちゃんハイハイ大会にはたくさんの親子が参加します



今年のふれあい健康福祉まつりは11月7日(土)、上三川いきいきプラザで開催されます。各種団体による展示や販売のほか、キャラクターショーなども行われます。

また、食育フェスタ(詳細はP12)や医師会による公開講座(詳細はP36)もいきいきプラザにて同時開催されます。



ふれあい健康福祉まつりでは、ステージイベントや福祉体験などが行われ、上三川いきいきプラザは大勢の人で賑わいます。



J Aうつのみや 上三川地区農業祭

秋といえば、収穫の秋。農業祭はこの収穫の秋に、自然の恵みに感謝し、五穀豊穡を祝うとともに、組合員や地域住民の親睦を目的に開催されます。

昭和52年の開催当初は文化祭にあわせて開催され、農産物品評会や即売会などが行われていました。今年で第18回を迎える農業祭は、11月8日(日)にJ Aうつのみや上三川営農経済センターで農産物や農機具の展示・即売会のほか、抽選会や模擬店などが行われます。



平成6年のうどんの早食い大会の様子



サンマや牛の串焼き、各種農産物などが販売されました

まちのまつりを一本化

第1回いきいきかみのかわ祭りを開催

第1回いきいきかみのかわ祭りが、11月12日から13日にかけて開催されました。これは、昔年まで別々に行われていた町の祭りを一本化し、お互いの祭りの交流を促すべく、今年初めて町の一イベントとして実施されました。

初めて実現されたものです。祭りの当日は、あじにくの雨で予定よりも早々に切り上げる確率もありましたが、14日の日曜日にはお祭りとあそび場もあつたので、大いに盛り上がりました。



平成5年の第1回いきいきかみのかわまつりの様子

いきいきかみのかわ祭り

いきいきかみのかわ祭りは平成5年から平成20年までの間、開催されてきました。これはそれまで別々に開催されていた町のお祭りを一本化し、お互いの祭りを交流させることで町の一大イベントとしようと考え、前年開催されてきました。前にあげた文化祭や農業祭などを、11月上旬に日程を合わせて実施してまいりました。



平成18年開幕式の様子



山車屋台の巡業も行われていました(平成5年)